

淡路島公園における強みと課題について

【資料3】

No	回答者	強み（魅力）	課題	備考（補足など）
(1)	澤田委員	昭和池の池畔は森林の鳥と水辺の鳥の両方を観察しながら散策できる。特に、冬季にオシドリを見る楽しみの広報が不足気味（観察マナーと合わせて普及すべき）。ニジゲンノモリのアトラクション設置によって、池畔の園路を回遊できなくなっている。占有されている道路幅のうち0.9mでも解放できれば、歩行者の池畔回遊の機能を回復できそう。	オシドリを見る楽しみの広報が不足気味（観察マナーと合わせて普及すべき）。ニジゲンノモリのアトラクション設置によって、池畔の園路を回遊できなくなっている。占有されている道路幅のうち0.9mでも解放できれば、歩行者の池畔回遊の機能を回復できそう。	占有のあり方については私は十分に把握できていません。委員の中でも、坂田さんと山本さん以外は十分に把握できていないと思います。いちど現地視察をして実態把握をしてから議論すべきだと思います。
(2)		ニジゲンノモリによる集客力は強みである。ニジゲンノモリのウェBSITEでもこの公園の自然の豊かさをアピールしており、一定の相乗効果はありそうである。	一方、地域の公共の公園として、地元の方（とくに小さなこどもをもつ家庭や、高齢者）が気軽に立ち寄れる場所としての機能が損なわれている面がありそうだ。実際、そのような声が地域の方から聞こえてくる。	
(3)		花の谷から展望広場に至るコース（ニジゲンノモリのナイトウォークのコース）は、植物観察の重要な地点で、多くの野草が見られる。当初の火の鳥ナイトウォーク設置時には植物保全のために一定の配慮がなされている。	その後の鬼滅の刃リニューアル時などに同等の配慮がなされているかが不明である。	公園の自然資源が損なわれていないか、事前のアセス調査だけでなく開園後のモニタリングは何らかの形で必要である。
(4)	米山委員	淡路島公園有料ゾーン（アニメパーク）に関しては、パソナの発信力のおかげで認知度が高い。	無料ゾーンでも、十分楽しめることをPR。有料ゾーン、無料ゾーンの共存。	
(5)	山本委員	関西圏からの車でのアクセスが良く、手軽に非日常の空間や小旅行気分が味わえる。	公共交通機関を利用する人にとってのアクセスが悪い。淡路インターバス停を降りてから歩いての移動ルートがわかりにくい。ニジゲンノモリの無料バスの利用をためらう人も多く、時刻表もわかりにくい。	
(6)		駐車場が全体で約1000台駐車可能なうえ、無料（A駐車場を除く）。	駐車場の点在していることによる案内看板不足。道路に看板の設置が必要。公園緑地課だけでなく道路関係部署との連携が必要。	
(7)		淡路島の里山の自然がすぐ手に届くところにあり安全に散策でき、憩いと安らぎとつるぎを体感できる公園。特に林間遊歩道は舗装路が整備されていて、すべての人が（体の不自由な人、ベビーカー、車いすユーザーも）、自然環境が体験できる。	体の不自由な等も含めたすべての人にとって触れ合える自然が、人工物や音楽で、自然環境が壊されている。過去には古い機材が放置されているところもあった。	
(8)		花の谷～オアシス館の裏手 歩いてすぐに自然豊かな淡路の雑木林に触れ、数多くの花木類（特にアジサイと椿が売り）、庭園を満喫できる。	花の谷の水景施設が庭園の演出効果を高めてくれるが現在の故障しており、修繕が必要である。	
(9)		展望広場は佐手ヶ原という名前で地元の人々が古くから花見に来ていたところであり、長期間多種の桜と同時に絶景の明石海峡大橋を鑑賞できる貴重な場所である。	アトラクション機器が日中も設置されており、名所の景観を阻害している。	

(10)	山本委員	水の遊び場や木の遊び場は家族連れや遠足で子供がのびのびと無料で遊べる大変人気のエリアである。	四方からのアトラクションの音に子供が怖がったり、注意力が散漫になる。	
(11)		集客につながるニジゲンノモリの広報。	公園全体が有料のアニメパークだと思われている。その影響で、地元の小学校などの遠足が敬遠されている。	
(12)		昭和池にはオシリドリをはじめ水鳥が多く観察できる。	過去には一周まわって水鳥の観察がすぐそばで可能であったが、アトラクションにより一周することができなくなった。	
(13)		林間広場はコナラやクヌギなどが多く植栽されているため、ドングリ拾いやカブトムシなどの昆虫観察、野鳥観察ができる。環境体験学習やエコロコ遠足には最適な場所。	林間広場の半分をアトラクションに占領されているため、環境体験学習（エコロコ遠足等）などがやりにくくなつた。	
(14)		大きな芝生広場とその周辺は、駐車場入ってすぐの位置にあり、広大な芝生は家族連れや遠足、高齢夫婦などにとってはゆったりと自由に楽しめる場所である。	淡路島公園ビジョンの中では年数回程度のイベントが可能と書かれているが、貴重な憩いスポットである大きな芝生広場はすべての来園者のために現在の状態をそのままし、本来の利用が優先されるべきである。	
(15)	小南委員	ハイウェイオアシスにつながっている。	有料と無料の場所が入り組んでいる。	
(16)		広大な自然の中にある公園。	人工的な騒音が気になる。	
(17)	関委員	ハイウェイオアシスで買い物、飲食が出来る。	令和5・6年度、図書館パートナーの会で3月末桜まつりに参加しました。6年度、広場の手前の桜の木が切られていた、パソナの鬼滅の刃のイベントにあわせてか？看板やライトが設置されていて、自然との違和感を感じました。公園が広いのでどこまでチェックが出来るのか課題です。 以前行った時、猪が入るので柵がめぐらしていた。猪との闘い。	
(18)		ハイウェイオアシスから花の谷に出られる。		
(19)		花の谷・アジサイの谷の散策。		
(20)		展望広場の開放感と橋との調和。		
(21)		大きな芝生広場。		

(22)		秋田県、栃木県、福岡県、愛知県など全国の自治体から視察があるなど、観光交流型公園として官民連携した事業が展開されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・観光交流の共通目標が不明確なため、公園全体としての連携がなされていない。 ・自然を維持していくうえで管理費は避けては通れない。しかし多くの場合、その議論はなされておらず、将来の子供たちへの負担になり兼ねない。収支についてはしっかり議論すべき。 ・県が公表している公園利用者数の実測が不明確で、あり方を検討していく上で、ベースとなる材料にならない。 ・県内外、国外からの利用者が増える一方、ネット環境があまりにも脆弱すぎ、利用者から多くのクレームが寄せられている。 	兵庫県には淡路島公園利用料としての収入があると思われるが、その利益分は公園の活性化に還元するべき。公園の周辺住民に迷惑をかけているのだから。
(23)	坂田委員	公園への入口が多数ある。	<ul style="list-style-type: none"> ・入り口のあり方（雰囲気、設備、おもてなし度）にかなりの差があり、一体感が乏しい。 ・イノシシ柵の劣化が酷く、来園者には錆びれた公園に映る。 ・特に入り口ゲートのみすばらしさはかなり多数の方からのご指摘を受けている 	
(24)		駐車場が多数ある。	<ul style="list-style-type: none"> ・各駐車場の利用頻度や見栄えにかなりの差が生じている。各駐車場の存在意義を再度確認する必要がある。 ・ニジゲンノモリが2000万円を寄付する形でF2,3を整備するも民間では限界がある。観光交流型公園をめざしながらも近隣住民にご迷惑をかけないためにも立体駐車場などの検討が必要。 ・駐車場の有料化で公園の収入を増やすべき。近隣住民は特別にカードを発行し無料にするなどを検討すべき ・GWなど繁忙期にはF・E駐車場はもちろんA駐車場、ハイウェイオアシス駐車場までも満車になる。しかし駐車場案内が十分でないため、ニジゲンノモリ社員が道路に立ち案内を行っている。 ・PGで無料の周遊バスは運行しているものの、公共交通機関を利用した来園方法が弱かつたが、ハイウェイオアシスへのバス停設置や神姫バスとの新規路線開通など実施し、バスを使って来園するお子様が増えた。 ・F駐車場入り口のハーブ園は手入れが行き届いていて素晴らしいスポットであるが、来園者の利用がほとんどない。 	

(25)	坂田委員	広大な自然が多い。	<ul style="list-style-type: none"> ・雷・ゲリラ豪雨など、近年の異常気象による災害への対策が必要。 ・蜂、ムカデ、まむしなどで弊社の看護師の出動は年間100件近くあるが、そもそも対策が不十分なため、子供たちや公園利用者が安心して利用できない。 ・公園としての救護体制が不十分に思う。 ・不審者等への警戒、体制に不安がある。（昨年の暴行事件等） ・お年寄りや小さな子供にとって広大な公園を歩くのは大変なのだが園内に車両制限があり、公園利用者が気軽に長い距離を移動できる手段がない。名古屋のジブリパークでは、県の公園管理事務所が無料バスを出している。 ・利用者の多様化から・授乳室の設置など、公園利用者の多様なニーズへの対応が求められている。（とくに授乳室に関してはニジゲンノモリへかなり多くの問い合わせがある）これでは子育て世代に優しい公園とは言えない。（一部の自然マニア向けの公園になってしまふ） ・暑さ対策においても管理運営協議会で指摘があったにもかかわらず日陰テントの設置やミスト扇風機などの設置に予算を割く気配がない。年間の熱中症にたいするニジゲンの看護師の出勤回数も増えているため、民間主導でせめてニジゲンのエリアだけでもミストの設置や日陰テントの設置を進めているが、管理事務所として安全対策を真剣に検討すべきである。繰り返しになるがニジゲンが客を集めているからもともとの予算では対応しきれないであればやはり、ニジゲンの支払う年間1億円をきちんと淡路島公園に還元する仕組みを作るべきではないか。民間活力を活用して観光交流型公園を目指して行く。しかし近隣住民や施設管理者にとって還元がなされない状況だと当然ハレーションがおこり、その矛先はニジゲンのような民間設置者になるのは当然ではないかとおもう 	<p>モリノテラスは冷暖房完備の無料施設また隣の多目的テントも災害時開放</p> <p>公園は自然を守るだけの場所ではなく、人がその自然を様々な形で体験できたり、学習できたりする場所ではないか。その点が不明確に感じる。今後は「公園のワיזユース（賢明な利活用）」を念頭に検討していくことで、この公園を真の遺産として未来に受け継ぎたい。</p>
(26)		高速道路に直結されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイウェイオアシス利用者の、公園全体としての流入方法が乏しい。 ・バスを利用して来れる環境が整っているにも関わらずその発信が極めて弱い。 ・公園のイベント情報が限定的で告知範囲が狭く、初めてのお客様に対して排他的に感じる。 	
(27)		探鳥会・桜まつり・タケノコ祭り・オープンガーデン・アジサイまつり・アジサイ体験教室・昆虫観察会・昆虫大捜査線・星の観察会・キノコ苔観察会・クロスカントリー・お正月飾り作り教室など子供たちを中心に老若男女楽しめる様々なイベントが実施されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・県立公園としてのイベントであるものの、毎回の募集人数上限が少なく、近隣の方のみのイベントに見えてしまう。 ・せっかくいいイベントをやっているのでもっと県内外から多くの参加者が集まるような情報発信が必要と思われる。 ・県立公園（県の資産）にもかかわらず近隣の一部の住民にしか告知されていない。交流型であればより広範囲からの来園を促すべき。 	(参考数字) 小学生数 県全体約27万人 淡路市1,936人 (0.7%)
(28)		多くのインバウンド観光客が公園を訪れる。	<ul style="list-style-type: none"> ・公園内にインバウンド向けの多言語表記が少なく、公園利用者が快適に過ごすための案内及び案内所も不足している。 	ナルト・ゴジラなど世界的に展開しているコンテンツを使用している。
(29)		オシリ、サシバ、ヒメボタル、などの生態系を観察できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・都会では観察できない、まさしく自然を体感できる場所であるのも関わらず、その情報発信が乏しいため、閉鎖的なものになっている。 	ニジゲンノモリ宿泊施設グランシャリオでは宿泊者にヒメボタルを楽しんでいただくプランを作成、大変好評をいただいております。

(30)	坂田委員	大きな芝生広場/楽しくピクニックなどで遊べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具の販売などがあるとよい。 ・イベントでの利用を希望する団体は多いが、利用申請しづらい感じがある。 ・甲子園球場ほどの広さに対し、今後夏の利用者向けの対策の強化が必要に感じる。 ・災害時の活動拠点になるが、全体としての訓練等がなされていない。 ・暑さ対策などでモリノテラスは休憩場所として機能しているものの日陰テントなどの対策をすべき。来園人数に対して四阿等の数が少ない。夏休みやGWなどだけでも簡易テントや休憩スペースを設置するなど対策が必要。ニジゲンノモリで再三にわたり休憩所やテントを費用持ち出しで提案するも、公園管理事務所の方で却下されている。それならば公園管理事務所のほうで暑さ対策など安全に資する対策を行うべきではないか。 	
(31)		草原の花のゾーン/流星観察ができるほど星空がきれいに観られる。	<ul style="list-style-type: none"> ・知る人ぞしるスポットとなっており、利用者が限定されている。 	ニジゲンノモリ宿泊施設グランシャリオでは宿泊者向けに地域の資源としてプランを作成、大変好評をいただいております。
(32)		展望台/明石海峡大橋のほか初日の出、花火大会などが楽しめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・県立公園として、県内外に向けたPRをすべきと思う。 	
(33)		ナイトウォークエリア/ナイトタイムエコノミーとして活用できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の観光アイテムとして「夜の観光の不足問題」は政府の課題の一つとなっているが、そのことを承知している方が少ない。 ・エリアまでの導線など夜間の照明や警備体制が不足している。 ・ニジゲンノモリで8000万円を寄付する形で手すりを700m設置させていただきある程度の安全は確保させていただいたが、本来は県で対応すべきであるし安全に関する対策を打つべきではないか。 	
(34)		水の遊び場/ご家族連れ（特に小学生、幼児）の利用が多く、夏場は多くの方が利用されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・2025/6/13より利用中止が続いている。ホームページと近くの掲示板に利用中止案内が掲示されているが、事前確認をされていない公園利用者も多く、来園されてから中止を知ったという声と、利用できないのかという問い合わせの電話が多い。周知方法について検討すべき。 ・ニジゲンノモリに多く問い合わせがはいっており、きちんと繁忙期に合わせて整備するのは最低限の配慮であると思う。これは民間の価値観だからなのでしょうか。 	
(35)	伊東委員	無料で利用できる遊具などもありファミリー層を中心に楽しめる。	高速道路からのアクセスは良いが、島内からの交通アクセスが悪く、車以外での利用が不便。	

淡路島公園における強み（魅力）【カテゴライズ】

大カテゴリ	小カテゴリ	No	強み（魅力）	回答者	備考（補足など）
環境	植物	(3)	花の谷から展望広場に至るコース（ニジゲンノモリのナイトウォークのコース）は、植物観察の重要な地点で、多くの野草が見られる。当初の火の鳥ナイトウォーク設置時には植物保全のために一定の配慮がなされている。	澤田委員	公園の自然資源が損なわれていないか、事前のアセス調査だけでなく開園後のモニタリングは何らかの形で必要である。
環境	植物	(8)	花の谷～オアシス館の裏手 歩いてすぐに自然豊かな淡路の雑木林に触れ、数多くの花木類（特にアジサイと椿が売り）、庭園を満喫できる。	山本委員	
環境	野鳥・生き物	(1)	昭和池の池畔は森林の鳥と水辺の鳥の両方を観察しながら散策できる。特に、冬季にオシドリを気軽に観察できる点は、近隣の他の公園にない楽しみ。	澤田委員	占有のあり方については私は十分に把握できていません。委員の中でも、坂田さんと山本さん以外は十分に把握できていないと思います。いちど現地視察をして実態把握をしてから議論すべきだと思います。
環境	野鳥・生き物	(12)	昭和池にはオシドリをはじめ水鳥が多く観察できる。	山本委員	
環境	野鳥・生き物	(29)	オシドリ、サシバ、ヒメボタル、などの生態系を観察できる。	坂田委員	ニジゲンノモリ宿泊施設グランシャリオでは宿泊者にヒメボタルを楽しんでいただくプランを作成、大変好評をいただいております。
環境	景観・自然環境	(9)	展望広場は佐手ヶ原という名前で地元の人々が古くから花見に来ていたところであり、長期間多種の桜と共に絶景の明石海峡大橋を鑑賞できる貴重な場所である。	山本委員	
環境	景観・自然環境	(16)	広大な自然の中にある公園。	小南委員	
環境	景観・自然環境	(20)	展望広場の開放感と橋との調和。	関委員	
環境	景観・自然環境	(25)	広大な自然が多い。	坂田委員	モリテラスは冷暖房完備の無料施設 また隣の多目的テントも災害時開放 公園は自然を守るだけの場所ではなく、人がその自然を様々な形で体験できたり、学習できたりする場所ではないか。その点が不明確に感じる。今後は「公園のワיזユース（賢明な利活用）」を念頭に検討していくことで、この公園を真の遺産として未来に受け継ぎたい。
環境	景観・自然環境	(31)	草原の花のゾーン/流星観察ができるほど星空がきれいに観られる。	坂田委員	ニジゲンノモリ宿泊施設グランシャリオでは宿泊者向けに地域の資源としてプランを作成、大変好評をいただいております。
環境	景観・自然環境	(32)	展望台/明石海峡大橋のほか初日の出、花火大会などが楽しめる。	坂田委員	
集客力	ニジゲンノモリ	(2)	ニジゲンノモリによる集客力は強みである。ニジゲンノモリのウェブサイトでもこの公園の自然の豊かさをアピールしており、一定の相乗効果はありそうである。	澤田委員	
集客力	ニジゲンノモリ	(4)	淡路島公園有料ゾーン（アニメパーク）に関しては、パソナの発信力のおかげで認知度が高い。	米山委員	
集客力	ニジゲンノモリ	(11)	集客につながるニジゲンノモリの広報。	山本委員	
集客力	インバウンド観光客	(28)	多くのインバウンド観光客が公園を訪れる。	坂田委員	ナルト・ゴジラなど世界的に展開しているコンテンツを使用している。
利用	広大な芝生広場	(21)	大きな芝生広場。	関委員	
利用	広大な芝生広場	(30)	大きな芝生広場/楽しくピクニックなどで遊べる。	坂田委員	

利用	自然体験	(7)	淡路島の重山の自然がすぐ手に届くところにあり安全に散策でき、憩いと安らぎとつろぎを体感できる公園。特に林間遊歩道は舗装路が整備されていて、すべての人が（体の不自由な人、ベビーカー、車いすユーザーも）、自然環境が体験できる。	山本委員	
利用	自然体験	(13)	林間広場はコナラやクヌギなどが多く植栽されているため、ドングリ拾いやカブトムシなどの昆虫観察、野鳥観察ができる。環境体験学習やエコロコ遠足には最適な場所。	山本委員	
利用	自然体験	(19)	花の谷・アジサイの谷の散策。	関委員	
利用	多様なイベント	(27)	探鳥会・桜まつり・タケノコ祭り・オープンガーデン・アジサイまつり・アジサイ体験教室・昆虫観察会・昆虫大捜査線・星の観察会・キノコ苔観察会・クロスカントリー・お正月飾り作り教室など子供たちを中心に老若男女楽しめる様々なイベントが実施されている。	坂田委員	(参考数字) 小学生数 県全体約27万人 淡路市1,936人 (0.7%)
利用	夜間利用	(33)	ナイトウォークエリア/ナイトタイムエコノミーとして活用できる。	坂田委員	
利用	家族連れ・子ども	(10)	水の遊び場や木の遊び場は家族連れや遠足で子供がのびのび無料で遊べる大変人気のエリアである。	山本委員	
利用	家族連れ・子ども	(14)	大きな芝生広場とその周辺は、駐車場入ってすぐの位置にあり、広大な芝生は家族連れや遠足、高齢夫婦などにとってはゆったりと自由に楽しめる場所である。	山本委員	
利用	家族連れ・子ども	(34)	水の遊び場/ご家族連れ（特に小学生、幼児）の利用が多く、夏場は多くの方が利用されている。	坂田委員	
利用	家族連れ・子ども	(35)	無料で利用できる遊具などもありファミリー層を中心に楽しめる。	伊東委員	
アクセス	駐車場	(6)	駐車場が全体で約1000台駐車可能なうえ、無料（A駐車場を除く）。	山本委員	
アクセス	駐車場	(24)	駐車場が多数ある。	坂田委員	
アクセス	島外からのアクセス	(5)	関西圏からの車でのアクセスが良く、手軽に非日常の空間や小旅行気分が味わえる。	山本委員	
アクセス	島外からのアクセス	(26)	高速道路に直結されている。	坂田委員	
アクセス	ハイウェイオアシス	(15)	ハイウェイオアシスにつながっている。	小南委員	
アクセス	ハイウェイオアシス	(17)	ハイウェイオアシスで買い物、飲食が出来る。	関委員	
アクセス	ハイウェイオアシス	(18)	ハイウェイオアシスから花の谷に出られる。	関委員	
アクセス	入りやすさ	(23)	公園への入口が多数ある。	坂田委員	
管理・運営体制	官民連携の体制	(22)	秋田県、栃木県、福岡県、愛知県など全国の自治体から視察があるなど、観光交流型公園として官民連携した事業が展開されている。	坂田委員	兵庫県には淡路島公園利用料としての収入があると思われるが、その利益分は公園の活性化に還元するべき。公園の周辺住民に迷惑をかけているのだから。

淡路島公園における課題【カテゴライズ】

大カテゴリ	小カテゴリ	No	課題	回答者	備考（補足など）
環境	景観	(23)	・入り口のあり方（雰囲気、設備、おもてなし度）にかなりの差があり、一体感が乏しい。	坂田委員	
環境	騒音	(16)	人工的な騒音が気になる。	小南委員	
環境	騒音	(10)	四方からのアトラクションの音に子供が怖がったり、注意力が散漫になる。	山本委員	
利用	アトラクションと自然利用の共存	(1)	ニジゲンノモリのアトラクション設置によって、池畔の園路を回遊できなくなっている。占有されている道路幅のうち0.9mでも解放できれば、歩行者の池畔回遊の機能を回復できそう。	澤田委員	占有のあり方については私は十分に把握できていません。委員の中でも、坂田さんと山本さん以外は十分に把握できていないと思います。いちど現地視察をして実態把握をしてから議論すべきだと思います。
利用	アトラクションと自然利用の共存	(2)	一方、地域の公共の公園として、地元の方（とくに小さな子どもをもつ家庭や、高齢者）が気軽に立ち寄れる場所としての機能が損なわれている面がありそうだ。実際、そのような声が地域の方から聞こえてくる。	澤田委員	
利用	アトラクションと自然利用の共存	(3)	その後の鬼滅の刃リニューアル時などに同等の配慮がなされているかが不明である。	澤田委員	公園の自然資源が損なわれていないか、事前のアセス調査だけでなく開園後のモニタリングは何らかの形で必要である。
利用	アトラクションと自然利用の共存	(7)	体の不自由な等も含めたすべての人にとって触れ合える自然が、人工物や音楽で、自然環境が壊されている。過去には古い機材が放置されているところもあった。	山本委員	
利用	アトラクションと自然利用の共存	(9)	アトラクション機器が日中も設置されており、名所の景観を阻害している。	山本委員	
利用	アトラクションと自然利用の共存	(12)	過去には一周まわって水鳥の観察がすぐそばで可能であったが、アトラクションにより一周することができなくなってしまった。	山本委員	
利用	アトラクションと自然利用の共存	(13)	林間広場の半分をアトラクションに占領されているため、環境体験学習（エコロゴ遠足等）などがやりにくくなってしまった。	山本委員	
利用	アトラクションと自然利用の共存	(17)	令和5・6年度、図書館パートナーの会で3月末桜まつりに参加しました。6年度、広場の手前の桜の木が切られていた、パソナの鬼滅の刃のイベントにあわせてか？看板やライトが設置されていて、自然との違和感を感じました。公園が広いのでどこまでチェックが出来るのか課題です。 以前行った時、猪が入るので柵がめぐらしていた。猪との闘い。	関委員	
利用	アトラクションと自然利用の共存	(11)	公園全体が有料のアニメパークだと思われている。その影響で、地元の小学校などの遠足が敬遠されている。	山本委員	
利用	アトラクションと自然利用の共存	(14)	淡路島公園ビジョンの中では年数回程度のイベントが可能と書かれているが、貴重な憩いスポットである大きな芝生広場はすべての来園者のために現在の状態をそのままし、本来の利用が優先されるべきである。	山本委員	
利用	DEI対応	(25)	・利用者の多様化から、授乳室の設置など、公園利用者の多様なニーズへの対応が求められている。（とくに授乳室に関してはニジゲンノモリへかなり多くの問い合わせがある）これでは子育て世代に優しい公園とは言えない。（一部の自然マニア向けの公園になってしまふ）	坂田委員	
利用	DEI対応	(28)	・公園内にインバウンド向けの多言語表記が少なく、公園利用者が快適に過ごすための案内及び案内所も不足している。	坂田委員	ナルト・ゴジラなど世界的に展開しているコンテンツを使用している。
アクセス	園内移動	(25)	・お年寄りや小さな子供にとって広大な公園を歩くのは大変なのだが園内で車両制限があり、公園利用者が気軽に長い距離を移動できる手段がない。名古屋のジブリパークでは、県の公園管理事務所が無料バスを出している。	坂田委員	
アクセス	公共交通機関利用者のアクセス	(5)	公共交通機関を利用する人にとってのアクセスが悪い。淡路インターバス停を降りてから歩いての移動ルートがわかりにくい。ニジゲンノモリの無料バスの利用をためらう人も多く、時刻表もわかりにくい。	山本委員	
アクセス	公共交通機関利用者のアクセス	(24)	・PGで無料の周遊バスは運行しているものの、公共交通機関を利用した来園方法が弱かつたが、ハイウェイオアシスへのバス停設置や神姫バスとの新規路線開通など実施し、バスを使って来園するお子様が増えた。	坂田委員	
アクセス	公共交通機関利用者のアクセス	(35)	高速道路からのアクセスは良いが、島内からの交通アクセスが悪く、車以外での利用が不便。	伊東委員	
管理・運営体制	関係者の連携	(22)	・観光交流の共通目標が不明確なため、公園全体としての連携がなされていない。	坂田委員	兵庫県には淡路島公園利用料としての収入があると思われるが、その利益分は公園の活性化に還元するべき。公園の周辺住民に迷惑をかけているのだから。
管理・運営体制	救護体制	(25)	・蜂、ムカデ、まむしなどで弊社の看護師の出勤は年間100件近くあるが、そもそも対策が不十分なため、子供たちや公園利用者が安心して利用できない。	坂田委員	

管理・運営体制	救護体制	(25)	・公園としての救護体制が不十分に思う。	坂田委員	
管理・運営体制	災害対策	(25)	・雷・ゲリラ豪雨など、近年の異常気象による災害への対策が必要。	坂田委員	モリノテラスは冷暖房完備の無料施設 また隣の多目的テントも災害時開放 公園は自然を守るだけの場所ではなく、人が その自然を様々な形で体験できたり、学習で きたりする場所ではないか。その点が不明確に 感じる。今後は「公園のワイスユース（賢明な 利活用）」を念頭に検討していくことで、この 公園を真の遺産として未来に受け継ぎたい。
管理・運営体制	災害対策	(30)	・災害時の活動拠点になるが、全体としての訓練等がなされていない。	坂田委員	
管理・運営体制	防犯・安全対策	(25)	・不審者等への警戒、体制に不安がある。（昨年の暴行事件等）	坂田委員	
管理・運営体制	防犯・安全対策	(33)	・エリアまでの導線など夜間の照明や警備体制が不足している。	坂田委員	
管理・運営体制	防犯・安全対策	(33)	・ニジゲンノモリで8000万円を寄付する形で手すりを700m設置させていただきある程度の安全は確保さ せていただいたが、本来は県で対応すべきであるし安全に関する対策を打つべきではないか。	坂田委員	
管理・運営体制	猛暑対策	(25)	・暑さ対策においても管理運営協議会で指摘があったにもかかわらず日陰テントの設置やミスト扇風機などの 設置に予算を割く気配がない。年間の熱中症にたいするニジゲンの看護師の出動回数も増えているため、民 間主導でせめてニジゲンのエリアだけでもミストの設置や日陰テントの設置を進めているが、管理事務所とし て安全対策を真剣に検討すべきである。繰り返しになるがニジゲンが客を集めているからもともとの予算では対 応しきれないのであればやはり、ニジゲンの支払う年間1億円をきちんと淡路島公園に還元する仕組みを作る べきではないか。民間活力を活用して観光交流型公園を目指して行く。しかし近隣住民や施設管理者によっ て還元がなされない状況だと当然ハレーションがおこり、その矛先はニジゲンのような民間設置者になるのは當 然ではないかとおもう	坂田委員	
管理・運営体制	猛暑対策	(30)	・甲子園球場ほどの広さに対し、今後夏の利用者向けの対策の強化が必要に感じる。	坂田委員	
管理・運営体制	猛暑対策	(30)	・暑さ対策などでモリノテラスは休憩場所として機能しているものの日陰テントなどの対策をすべき。来園人数に 対して四阿等の数が少ない。夏休みやGWなどだけでも簡易テントや休憩スペースを設置するなど対策が必 要。ニジゲンノモリで再三にわたり休憩所やテントを費用持ち出して提案するも、公園管理事務所の方で却下 されている。それならば公園管理事務所のほうで暑さ対策など安全に資する対策を行なうべきではないか。	坂田委員	
管理・運営体制	公園管理のための資金	(22)	・自然を維持していく上で管理費は避けては通れない。しかし多くの場合、その議論はなされておらず、將來 の子供たちへの負担になり兼ねない。収支についてはしっかり議論すべき。	坂田委員	兵庫県には淡路島公園利用料としての収入 があると思われるが、その利益分は公園の活 性化に還元するべき。公園の周辺住民に迷 惑をかけているのだから。
管理・運営体制	公園管理のための資金	(24)	・駐車場の有料化で公園の収入を増やすべき。近隣住民は特別にカードを発行し無料にするなどを検討すべ き	坂田委員	
情報発信	園内の情報表記	(24)	・F駐車場入り口のハーブ園は手入れが行き届いていて素晴らしいスポットであるが、来園者の利用がほとんど ない。	坂田委員	
情報発信	園内の情報表記	(6)	駐車場の点在していることによる案内看板不足。道路に看板の設置が必要。公園緑地課だけでなく道路関 係部署との連携が必要。	山本委員	
情報発信	園内の情報表記	(24)	・GWなど繁忙期にはF・E駐車場はもちろんA駐車場、ハイウェイオアシス駐車場までも満車になる。しかし駐 車場案内が十分でないため、ニジゲンノモリ社員が道路に立ち案内を行っている。	坂田委員	
情報発信	PR・広報	(1)	オンドリを見る楽しみの広報が不足気味（観察マナーと合わせて普及すべき）。	澤田委員	
情報発信	PR・広報	(26)	・バスを利用して来れる環境が整っているにも関わらずその発信が極めて弱い。	坂田委員	
情報発信	PR・広報	(26)	・公園のイベント情報が限定的で告知範囲が狭く、初めてのお客様に対して排他的に感じる。	坂田委員	
情報発信	PR・広報	(27)	・県立公園としてのイベントであるものの、毎回の募集人数上限が少なく、近隣の方のみのイベントに見えてし まう。	坂田委員	(参考数字) 小学生数 県全体約27万人 淡路市1,936人 (0.7%)

情報発信	PR・広報	(27)	・せっかくいいイベントをやっているのでもっと県内外から多くの参加者が集まるような情報発信が必要と思われる。 ・県立公園（県の資産）にもかかわらず近隣の一部の住民にしか告知されていない。 交流型であればより広範囲からの来園を促すべき。	坂田委員	
情報発信	PR・広報	(27)	・都会では観察できない、まさしく自然を体感できる場所であるのも関わらず、その情報発信が乏しいため、閉鎖的なものになっている。	坂田委員	ニジゲンノモリ宿泊施設グラントヨシオでは宿泊者にヒメボタルを楽しんでいただくプランを作成、大変好評をいただいております。
情報発信	PR・広報	(29)	・知る人ぞるのスポットとなっており、利用者が限定されている。 ・県立公園として、県内外に向けたPRをすべきと思う。	坂田委員	ニジゲンノモリ宿泊施設グラントヨシオでは宿泊者向けに地域の資源としてプランを作成、大変好評をいただいております。
情報発信	PR・広報	(31)	・2025/6/13より利用中止が続いている。ホームページと近くの掲示板に利用中止案内が掲示されているが、事前確認をされていない公園利用者も多く、来園されてから中止を知ったという声と、利用できないのかという問い合わせの電話が多い。周知方法について検討すべき。 ・ニジゲンノモリに多く問い合わせがはいつており、きちんと繁忙期に合わせて整備するのは最低限の配慮であると思う。これは民間の価値観だからなのでしょうか。	坂田委員	
情報発信	PR・広報	(34)	無料ゾーンでも、十分楽しめることがPR。有料ゾーン、無料ゾーンの共存。	米山委員	
施設	故障・老朽化	(8)	花の谷の水景施設が庭園の演出効果を高めてくれるが現在の故障しており、修繕が必要である。	山本委員	
施設	故障・老朽化	(23)	・イノシシ柵の劣化が酷く、来園者には錆びれた公園に映る。	坂田委員	
施設	故障・老朽化	(23)	・特に入り口ゲートのみすばらしさはかなり多数の方からのご指摘を受けています	坂田委員	
施設	駐車場の整備	(24)	・各駐車場の利用頻度や見栄えにかなりの差が生じている。各駐車場の存在意義を再度確認する必要がある。	坂田委員	
施設	駐車場の整備	(24)	・ニジゲンノモリが2000万円を寄付する形でF2,3を整備するも民間では限界がある。観光交流型公園をめざしながらも近隣住民にご迷惑をかけないためにも立体駐車場などの検討が必要。	坂田委員	
施設	ネット環境	(22)	・県内外、国外からの利用者が増える一方、ネット環境があまりにも脆弱すぎ、利用者から多くのクレームが寄せられている。	坂田委員	
その他		(22)	・県が公表している公園利用者数の実測が不明確で、あり方を検討していく上で、ベースとなる材料にならない。	坂田委員	
その他		(15)	有料と無料の場所が入り組んでいる。	小南委員	
その他		(26)	・ハイウェイオアシス利用者の、公園全体としての流入方法が乏しい。	坂田委員	
その他		(30)	・遊具の販売などがあるとよい。	坂田委員	
その他		(30)	・イベントでの利用を希望する団体が多いが、利用申請しづらい感じがある。	坂田委員	
その他		(33)	・日本の観光アイテムとして「夜の観光の不足問題」は政府の課題の一つとなっているが、そのことを承知している方が少ない。	坂田委員	

淡路島公園における強みと課題についての整理図

